

入試説明会 & イベント

ぜひご来校ください！

2019 年度入試説明会等日程

中学

中学校体験授業

要予約

7月29日（日） 10：00

小学生対象

※上履きをご持参ください。
※車でのご来校はご遠慮ください。
※学校見学につきましては、事前に電話にてご連絡ください。

中学

中高一貫部 入試説明会

小学生・保護者対象

予約不要

第1回 10月27日（土） 10：30

入試説明会

第2回 11月10日（土） 10：30

入試説明会

第3回 11月17日（土） 10：30

入試説明会

第4回 12月 1日（土） 10：30

入試説明会

第5回 12月23日（日） 14：00

入試問題説明会

第6回 1月12日（土） 14：00

入試体験会

イベント等日程

中学
高校

学園祭【実践祭】

9月22日（土）・23日（日）

本校

中学

中学合唱コンクール

11月16日（金）

杉並公会堂大ホール

JR・東京メトロ「荻窪駅」

下車徒歩5分

中学
高校

体育祭

6月12日（火）

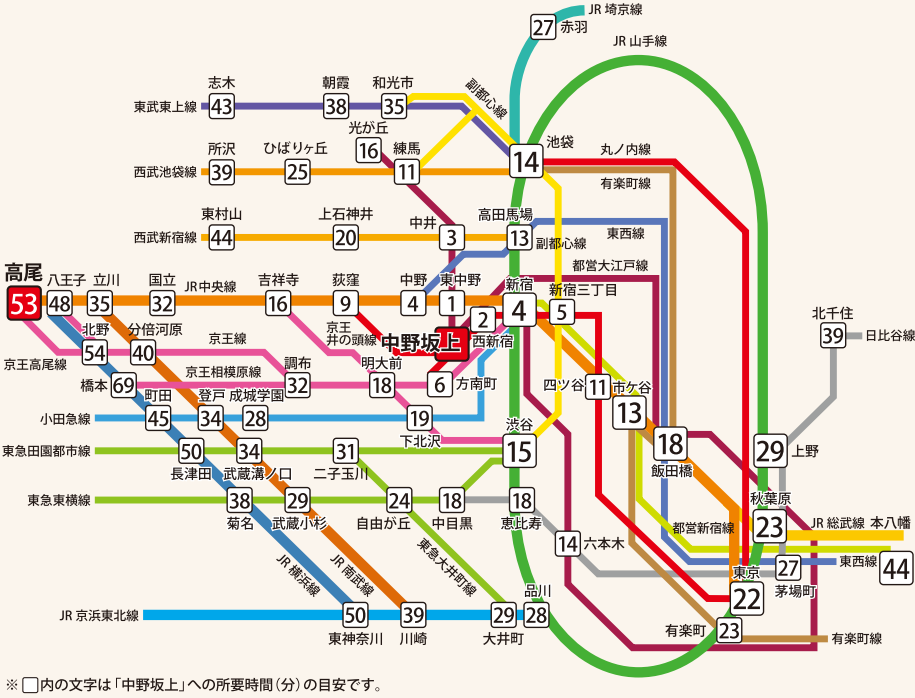
中高一貫部 10月 6日（土）

高尾教育・研修センター

JR中央線・京王線「高尾駅」南口より徒歩7分

※各イベントとも見学は受付までお越しください。

アクセス



※□内の文字は「中野坂上」への所要時間(分)の目安です。

中野校舎



高尾教育・研修センター



■JR 中央線・京王線
「高尾駅」南口より徒歩7分

JISSEN GAKUEN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

実践学園中学・高等学校

〒164-0011 東京都中野区中央 2-34-2 TEL.03-3371-5268 FAX.03-3363-8396

http://www.jissengakuen-h.ed.jp/ 中野区・中野坂上【共学校】



JISSEN GAKUEN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
実践学園中学・高等学校



JISSEN GAKUEN
JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
GUIDE 2019

変化の激しい グローバル時代の中、 生き抜く人材を 育てます。

実践学園は、

「学問の修得をとおして自己実現をめざし、

人類社会に役立つ人材づくりをする」を

建学の精神として

多くの優れた人材を育ててまいりました。

グローバル化の中でも人類・社会を俯瞰し

幅広い視野で物事を捉える教育に邁進することで、

明るい未来を創造する教育を実践します。

沿革

1927	4月	神田錦町に東京堂教習所(甲種〔中学課程〕の青年学校)として設立
1935	4月	財団法人東京堂学園実践商業学校として文部大臣より認可
1941	4月	出版物取次会社統合により日本出版配給株式会社設立 経営主体は財団法人東京堂学園より財団法人実践学園に移る
1942	10月	神田錦町より中野区中央2丁目34番2号の現在地に移転
1943	4月	中野校舎へ移転し、昼間部設置
1947	4月	6・3・3・4年制による新制度により新制中学校(実践学園中学校)入学式挙行
1948	4月	学制改革により新制高等学校(実践学園高等学校)及び定時制(夜間部)生徒募集
1950	8月	法令により日本出版配給株式会社閉鎖となり財団の独立経営となる
1951	4月	制度改革により財団法人実践学園は学校法人実践学園と改称
1954	12月	実践商業高等学校と改称
1956	3月	実践学園中学校の最後の卒業式挙行
1958	3月	高等学校定時制の最後の卒業式挙行
1964	10月	高尾総合運動場竣工
1985	3月	東中野寮竣工
1987	9月	本校2号館竣工
1990	4月	実践学園高等学校と改称、普通科設置
1992	4月	平澤記念高尾研修センター竣工
1995	12月	本校1号館竣工
1996	4月	実践学園中学校復校
2001	3月	高尾トレーニングセンター竣工
	12月	本校3号館竣工
2003	3月	総合体育館竣工
2004	9月	教職員1人1台パソコン導入及び校内システム導入
2005	4月	図書蔵書管理システム導入 校内LAN環境整備・全普通教室にパソコン1台設置
2006	4月	軽井沢平澤記念研修センター(セミナーハウス)竣工
	11月	高尾総合運動場全面人工芝敷設・平澤記念研修センター全面改装
2007	4月	IWB(Interactive White Board)を全教室に設置
	5月	建学80周年記念式典
2008	9月	1号館屋上「21世紀eco実践の森」第1期工事竣工
2009	4月	1号館屋上「実践農園」第2期工事竣工
2010	1月	高尾研修センター2号館(教育棟)竣工
	10月	「実践の森・農園」が(財)都市緑化技術開発機構主催 第9回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクールの屋上部門「環境大臣賞」を受賞
	12月	「実践の森・農園」が東京都環境局主催・ 2010年度第1回「東京都緑の大賞」の「特別賞」を受賞
2011	3月	自由学習館(Freedom Learning Manor House)竣工
	5月	自由学習館を拠点とした「J・スクール」開講
2012	5月	中野坂上セミナーハウス竣工
2014	2月	自由学習館が「日本建築大賞2013」を受賞
	4月	建学88周年記念式典
	5月	建学90周年記念事業 キャンパス リニューアル プロジェクト着工
2015	8月	中野校舎のリニューアル事業完了 高尾研修センターのリニューアル事業
	9月	高尾トレーニングセンターの改装
	11月	グラウンドの夜間照明のLED化
2016	4月	建学90周年記念式典 軽井沢研修センターのリニューアル事業完成
	9月	建学90周年記念行事「感謝の集い」 建学90周年「実践学園 教育改革10年史」完成
2017	3月	高尾研修センター2号館(教育棟)新教室竣工
	8月	自由学習館別館【読書・調べ学習のための学習室】リニューアル
2018	4月	実践の森リニューアル
2026	4月	建学100周年

進学校の実現から次のステージへ

成長戦略を一段と進め、「真の進学校」を実現。
世界で主体的に活躍できる人材を育成します。



グローバル社会で主体的に活躍できる 人材の育成

実践学園中学・高等学校
校長
松本 昭彦

グローバルな時代では、国も個人も日本企業・外資系企業を問わず、世界を舞台に多様な人々と協力しながら新たな価値を創造していくことが求められます。

2020年に行なわれる大学入試改革でも、このような時代の変化を見据えて、従来の知識量を問う「暗記型」の学習から、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」などの「生きる力」の育成が求められています。
まさに、日本の教育は大きな転換期を迎えているのです。

実践学園では、この大学入試改革に先駆けて、未来を創出する新たな「学び（学習・探究）」への「スリーi教育」を推進することで、大学受験の先のグローバル社会を見据えた「新たな教育のあり方」を構築し、実践しています。

21世紀の社会環境の下でこれからの中学・高校教育に求められるものは、まさしく「社会に出てグローバルな環境の中で活躍できる人材の育成教育」です。

学園では、このような考えで教育理念に基づき「志が高く、高い倫理観を持ち、国際感覚に優れ、グローバル社会で生き抜くための変化に対応できる人材」を育ててまいりました。

この先行き不透明な時代、自分の人生を豊かに生きるために必要なものはなんでしょうか。
将来の「夢」、切磋琢磨できる「友」、一生懸命になれる「何か」。

中高一貫の6年間だからこそ、様々なことにじっくりと向き合って、自分の「礎」となるものを見つけ、育んでください。実践学園には、皆さんのあらゆる可能性を伸ばす教育があり、それを全力でサポートする教員がいます。

人生の中で最も重要な6年間、この実践学園で過ごされた皆さんが、「夢」を実現し、イノベーションを起こせる国際人となって、世界を舞台に活躍されることを期待しています。

目標達成による 自己実現を目指します

- 学園では、先進的な教育環境のもと、学園独自の進学プログラムにより、「生徒一人ひとりに組織で対応可能な教育」を実践し、普遍的な確かな学力や論理的思考力の育成をします。
- 中高一貫6年後には、生徒の大きな成長による大学合格を確かなものにし、目標達成による自己実現を目指します。

幅広い見識と確固たる信念を持ち、自分の考えを 堂々と主張できる世界で通用する国際人を育成します

- 学園では自国文化への深い理解のもと、異文化を理解できる幅広い見識と確固たる信念を持ち、国際人として世界で通用する尊敬される人材を育てます。
- 世界の多様な見方を理解し尊重できるとともに、主体性を持って自分の考えや意見を堂々と主張できる人材を育てます。

建学の精神

学問の修得をとおして、自己実現をめざし、
人類・社会に役立つ人材づくりをする

教育理念

豊かな人間味のある人材の育成
・人間性に富み、志が高く、倫理観の強い、
国際感覚に優れた社会に役立つ人材を
育成する

教育目標

- ・難関大学合格を目指す指導を徹底する
- ・学習と部活動の両立を支援する
- ・倫理観、道徳心を養う

未来を創出する新たな「学び（学習・探究）」への 「スリーi教育」の実現

1- i Intensive Study

【深掘り学習】

「知識」を習得し、自らの考えを構築し、課題・問題を発見して解決策を創造する教育です。
換言すれば、「深化的な学び（学習・探究）」であり、「自由学習館」「J・スクール」を活用しての知識の習得、自学自習・自調自考の更なる推進です。

2- i Independent Study

【主体的学習】

教育の新しい時代に必要となる資質・能力を育成するために「何を学ぶか」に加え、「どのように学ぶか」を自ら確立する教育です。
換言すれば、「主体的・能動的な学び（学習・探究）」であり、授業による理解度を重視し、新しい時代に必要能力を育成します。

3- i Interactive Learning

【双方向学習】

グローバルな学習環境の中で、ディベートを通し、多様な考えを知り、問題点を深く理解し、自らの考えを確立する、これからの新しい時代に必要資質・能力を育成します。
換言すれば、教科横断型教育の中で、「双方向・対話的な学び（学習・探究）」を通して、自ら課題を見つけ、情報を集め、整理・分析して、答えを導き出す、新しい時代に対応できる能力を育成します。

上記の「スリーi教育」で「新しい教育のあり方」を推進し、2020年以降の「大学入試新テスト」で導入される記述式問題にも対応できる「思考力・判断力・表現力等を育む教育」の実践とともに、「ものごとを構造化する思考力、その構造を的確に表現する力・答えを自ら生み出していく力」の育成をします。
そして「確かな知識」の習得を基盤とした「多面的な思考力・判断力・表現力」の養成と、それらを駆使して多様な人々と協働しながら主体性を持って人生を切り拓いていく力を育成します。

中高6力年の教育戦略

本学園の中高一貫教育は、6力年を2年ごとの3つのステップに分けた教育指導を実践しています。

また、本学園のカリキュラムは、中高一貫の強みを生かし、英国数の主要3教科を中心に、1年前倒しの5年間で学習内容を終了するようプログラムされています。



実践学園の特徴ある学び

中学進学指導講習「ジュニア・スクール」



中学では「ジュニア・スクール」として、次の三つの講座を実施しています。

- 学力保証講座** … 日々の授業で基本的内容が定着していない生徒を対象とした指名制の「学力保証講座」(A講座)
- 基礎・演習講座** … 学習した内容をより深く復習し、その中から基礎的な演習問題に取り組んで実力アップを目指す生徒を対象とした希望制の「基礎・演習講座」(B講座)
- 発展・演習講座** … 学習した内容をより深く復習し、その中から発展的な演習問題に取り組む、更なる実力アップを目指す生徒を対象とした希望制の「発展・演習講座」(C講座)

自由学習館の活用



生徒たちは、クラスメイトや先輩・後輩等の仲間と共に、受験勉強、調べ学習、予習・復習を行うなど、自由に学び、考える場所として大いに活用しています。また、コミュニケーションデザイン教育の先進的な教育の場としても活用しています。

体験型理科教育



校外授業として、東京大学田無演習林、国立科学博物館附属自然教育園に行きます。生物多様性や外来種の問題などを考えるきっかけになっています。また、理科教育指導顧問の阿部宏喜東大名誉教授の事前講義を受講した後、葛西臨海水族園に行き、海洋生物についても学びます。

IWB(インタラクティブホワイトボード)システム



全教室へのIWB(電子黒板)設置により、複数の教科にまたがる広範な知識の習得を可能とし、総合的な「思考力・判断力・表現力」を高める授業を実現すると共に、IWBシステムスーパーティーチャーの認定により、システム活用的一段の高度化とICTによる先進的な教育環境を実現しています。

Basic ベーシック期(基本的な習慣の確立)

Basic期は、大学進学に向けた学習習慣の基礎を身につけることを目的に指導を行っています。予習・復習の習慣化を図る「自主学習ノート」や、定期考査や各種検定に向けて計画的に学習に取り組む力の育成を狙いとした「学習計画表」の作成を行います。

また、Basic期は英語と数学に関して習熟度別に授業を展開し、生徒一人ひとりの学力レベルを踏まえての学力向上対策を重視した、丁寧できめ細やかな教育を行っています。

	中学1年	中学2年
指導	基本的な生活習慣と学習習慣の確立	基本的な生活習慣の再徹底と自主的学習習慣の確立
学習プロセス	習熟度別授業の実施(英語・数学)	
	「ジュニア」・スクール	学力保証講座／基礎講座／発展講座／夏期講習・冬期講習・春期講習
	各種検定受検／学力推移調査／課題確認テスト	
	宿泊研修(高尾)	勉強合宿(軽井沢)
	各種検定:4級(英語・漢字・数学)	各種検定:3級(英語・漢字・数学)
人間形成	コミュニケーション力養成のための「コミュニケーションデザイン教育」 体験的な環境教育の場「実践の森・農園」を活用した阿部宏喜東京大学名誉教授による理科教育	

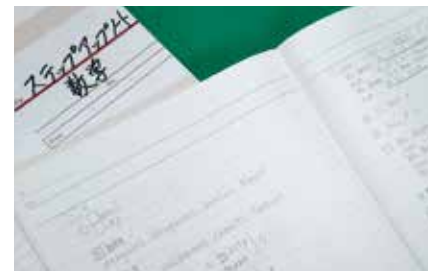
基礎学力の確立「学び方を学ぶ」

自主学習ノート



授業の予習や復習、各種検定取得に向けた学習、定期考査や探究などの学習内容を自分でまとめるためのノートです。ベーシック期からアドバンス期(中3まで)に取り組み、家庭学習の習慣をつくります。

ステップアップノート



大学受験に向けて、中学の学習内容の定着は必須です。定期考査後に、出来なかった問題をもう一度解きなおし、実力を養成するためのノートです。各教員がノートをチェックし、定着を促します。

朝読書



朝の読書を通じて授業に対する姿勢を整えるとともに、表現力や感受性を養っていきます。すべての学年が、朝10分間の読書をするこで、1日の「学び(学習・探究)」の準備態勢を整えます。

自己実現のための手帳の活用

自己の取り組みを振り返ることにより、自己の成長を実感し、自己肯定感を育てることを狙いとしています。日々の記録はもちろんのこと、定期考査や模擬試験の前後に「学習計画の作成と実行(Plan)―考査(模試)の実施(Do)―考査(模試)の振り返り(Check)―取り組み結果の検証と次回に向けた学習計画の立案と実行(Act)」といったPDCAサイクルを、教科担当者や学級担任との面談で個別の指導を受けながら主体的に進めます。



在校生からのメッセージ



中高一貫コース
中学1年
山口くん

勉強の進め方が身につくように、
具体的で細かな指導を受けています。

初の中間テスト後に「ステップアップノート」を渡され、間違えた所を先生と再チェック。ケアレスミスが多く、早めに書き込んで見直す時間を取れはいいと気づきました。「手帳」を使い好きな教科だけでなく、バランス良く勉強する習慣をつけています。毎朝7時に登校して先生に質問しますが、カフェテリアでのネイティブの先生との「モーニンググリッシュ」が楽しくて、英語が好きになってきました。



中高一貫コース
中学3年
望月さん

特進クラスでバスケットボール部のキャプテン。
「ジュニア・スクール」で効率的に学んでいます。

特進クラスは英語と数学の「ジュニア・スクール」が必修です。英語は宿題と問題解説でポイントを学習し各種検定合格を目指す講座、数学は授業の復習と応用問題に挑戦する講座です。中学女子バスケットボール部のキャプテンとして勉強と部活動を両立させるため、不明点はその場で先生に聞いて理解するようにしています。

Advance アドバンス期 (効果的な中高接続)

Advance期は、中・高接続期を有効活用して、学園独自のリベラルアーツ&サイエンス教育を実施しています。その一つがAdvance期の2年間をかけて取り組む「課題論文」です。自らが掲げた1テーマをその解決に向けて2年間かけて探究し、成果等を表現することは、「思考力・判断力・表現力等の能力」を育む、教科学習を超えた有効な自己啓発(開発)となります。

また、学力別クラス編成を導入することで、習熟度別指導の更なる強化を図り、生徒一人ひとりの進学目標に即した指導を実施します。

中学3年	高校1年
多くの経験と知識に基づくプロセス重視の指導	難関大学進学意識の確立
習熟度別クラス編成	特進クラスと文理クラスの編成
「ジュニア」・スクール」	「J」・スクール」 進学講習(放課後・夏期・冬期・春期)
各種検定受検／学力推移調査／課題確認テスト	スタディサポート(年2回) ／模擬試験
勉強合宿(軽井沢)	勉強合宿(軽井沢)
各種検定:準2級(英語・漢字・数学)	各種検定:2級(英語・漢字)
人間力育成のための充実した総合学習と校外授業 正しい判断力と倫理観をもつための道徳教育	進路学習／職業・学問分野研究 文理選択、学部・学科研究、大学見学ツアー

より深い学び

プレゼンフェスティバル



中学生は、グローバル社会で必要とされる表現力を養うために、9月の実践祭でプレゼンテーションフェスティバルを実施しています。各クラス有志を募り、日頃のコミュニケーションデザイン教育で培ったスキルを活かし、3年生は「ニュージーランド」、1・2年生は実践祭のテーマに沿って、プレゼンテーションを行います。自由学習館のフリーダムホールで中学全校生徒に向けての大規模なものになりますが、物怖じせずに毎年盛り上がるイベントとなっています。

在校生からのメッセージ



中高一貫コース
高校1年
白井さん

動物好きだから論文テーマは「動物の殺処分」。
調べてまとめて解決策を提示します。

犬を飼っていて「東京都の殺処分ゼロ」というニュースを機に、中3の3学期から「動物の殺処分」をテーマに課題論文に取り組んでいます。他県や他国との比較や保健所の現状などをインターネットで調べ、パソコンでレポートを作成します。先生に中間報告後、手直して高1の9月にプレゼンテーションします。ペットとは長く付き合う覚悟を持ち、ショップではなく保健所で譲り受けることが解決策だと思いました。

課題論文

中高一貫生は、それぞれ自分で決めた課題を探究し、その成果をまとめる「課題論文」に取り組んでいます。中学3年で下書きを行い、高校1年で清書を提出します。Advance期(中学3年・高校1年)を通して、様々な意見や考えを基に自らの考えを論理的に表現する力を養うことを目標としています。中高一貫の連続性を活かした課題探究活動は、アクティブラーニング教育と連動しながら主体的な学習態度を育みます。



主な題材

- 『IPS細胞とパーキンソン病について』
- 『タイムスリップはできるのだろうか?』
- 『冥王星について』
- 『集団的自衛権と自衛隊』
- 『脳とこころの関わり方について』
- 『情報の支配者と未来』
- 『コンピュータセキュリティについて』
- 『悪性腫瘍について』

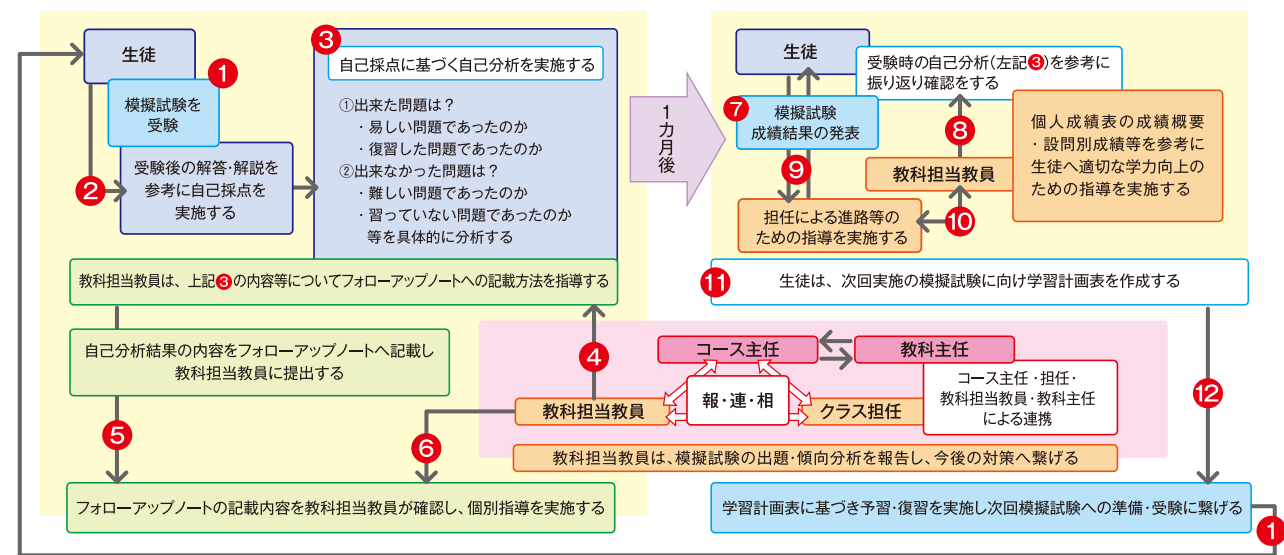
Master マスター期 (大学進学への合格力養成)

Master期は、教科担当教員、教科主任、クラス担任、コース主任、教頭、副校長との連携を密にした教育・指導体制のもとで、「生徒学力向上個別指導システム」により、模試結果から、各クラス・各生徒が今取り組むべき課題は何かを明確にし、生徒一人ひとりが取り組む受験学習を効果的にサポートし、志望大学合格へと導きます。英国数の主要3教科を中心に、高校の学習内容を高校2年生までに終了し、高校3年生の1年間で難関大学合格を目指す学習の徹底強化を図ります。

高校2年	高校3年	人類・社会に役立つ人材の育成指導
難関大学進学を目指す学習の徹底指導	難関大学合格を目指す学習の徹底強化	
クラス単位での選択科目別授業	難関大学合格を目指した演習授業	
「J」・スクール」 実力養成	「J」・スクール」 合格力養成	
模擬試験	模擬試験	
勉強合宿		
英語を中心とした外部試験を受検	英語を中心とした外部試験を受検	
進学ガイダンス、大学模擬授業	大学別個別相談会	

組織的個別学習指導体制

生徒学力向上個別指導システム



フォローアップノート



模擬試験受験をより効果的なものとすべく、正答・誤答に関わらず自分の課題となる問題などをノートに書きとめて、ストックしていきます。このほか進研模試ではデジタルサービスを活用しています。これらの資料をもとに教科担当やクラス担任が生徒への個別指導を行います。

卒業生インタビュー



青山学院大学
経営学部
深澤くん

中高ともにバスケットボール部の主将を務め、人間として大きく成長できました。

「必勝のプレッシャー」と6年間向き合いました。遠征や通学の移動中に勉強し、中学では毎日自習学習ノート3ページをノルマにし、高校では授業でとったノートをテスト前にみっちり復習しました。部活動を通じ礼儀や思いやり、おごらず謙虚でいることなど、人として成長できたと思います。志望校にもスポーツ推薦で合格でき感謝でいっぱいです。

実践学園独自の進学プログラム

リーフレット01へ

「生徒の学力向上」を導く「予備校いらずの進学指導教育」を確立しています

J・スクールとは

ジュニアJ・スクール(中学生対象)

本学園のカリキュラムは英国数の主要3教科を中心に1年前倒しの5年間で学習内容を終了するようプログラムされています。日常の授業と放課後や夏期・冬期・春期の長期休業期間を利用して、先取りあるいは知識定着のための講習を実施しています。

中学校段階の「ジュニアJ・スクール」では、基礎基本の徹底を確実なものにするために指名制の「学力保証講座」(A講座)、希望制(一部クラス編成により必修)の「基礎・演習講座」(B講座)・「発展・演習講座」(C講座)といった3段階の講座を実施し、生徒の学力向上を導きます。

J・スクール(高校生対象)

アドバンス期の高校段階に入ると大学受験が迫ってきます。この時期には「J・スクール」として日常の授業と連動した予備校いらずの受験対策講座がスタートします。担当講師は、教科指導に卓越した実績を持ち、経験豊富な予備校講師と日常の授業を担当する本学園の教科担当教員です。予備校講師と本学園の教員が綿密な打合せに基づき作成したオリジナルテキストにより、大学入試に対して効果的な講座で構成されているため、多くの生徒が難関大学に自信をもってチャレンジし、実績も年々上がっています。まさに「予備校いらずの進学指導教育」が確立されているのです。

学習の流れ



高校 3 年間の受験対策講座費用			
大手予備校の一例(2017年)		J・スクール	
入塾金	30,000円		
高1講座代(3教科)	477,000円	高1テキスト代(3教科)	24,000円
高2講座代(4教科)	594,000円	高2テキスト代(4教科)	32,000円
高3講座代(3教科)	393,600円	高3テキスト代(3教科)	27,000円
合計 1,494,600円		合計 83,000円	
※文系または理系の教科を受講した場合。 ※本学園のテキスト代は全生徒の平均金額です。 ※J・スクールの受講料は無料です。テキスト代として授業1回につき500円が必要です。			
※本学園調べ			

月～金曜日の7限(16:00-17:10)～8限(17:20-18:30)、土曜日の5限(13:30-14:40)～6限(17:20-18:30)に開講します。

きめ細やかに対応した講座(例)

基礎から始める英語(数学)

中学3年間や授業の学習内容の弱点を補強する希望制講座。小テスト、定期考査、模試の自己分析と復習の習慣化により学習内容について個々の弱点を把握し、早期に補強する講座です。

国公立・早慶・難関私大、それぞれに対応した講座

国公立・早慶・難関私大などの入試問題演習を通じて、学習した知識をどのように活用するのか思考力、判断力を育成し、長文記述式の解答訓練を通じて、仮説を立て、多角的に検証し、他者の共感・理解が得られる表現力を育成する講座です。

トップとスタンダードの能力別希望制講座

高校1・2年生を対象にトップとスタンダードの能力別に授業内容の弱点を補強する希望制講座。学習した複数の基礎・基本的知識を活用して比較

検討、因果関係の把握、抽象化を行い、理解を深め、思考力を育成する講座です。

大学入試で活用する英語資格・検定対策講座

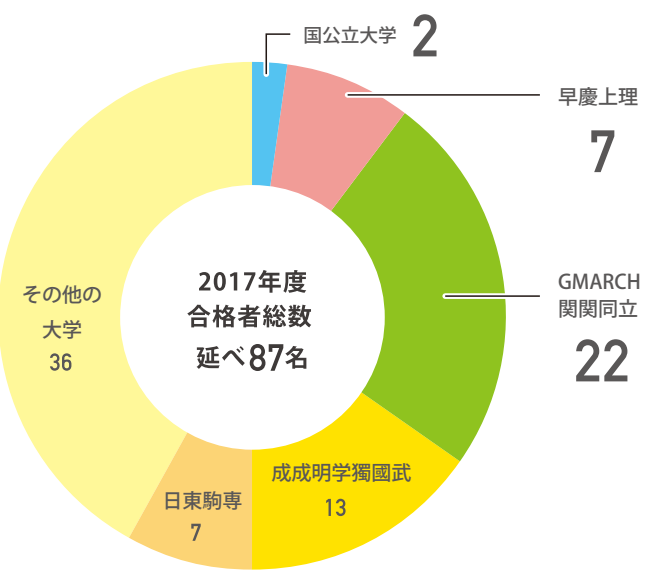
高校全学年の生徒を対象に英語4技能(「聞く」「読む」「書く」「話す」)を育成する希望制講座。英語検定、TEAP、GTECなどの外部英語資格・検定試験を導入する大学入試に対応し、グローバル社会に必要な英語による表現力を育成する講座です。

基礎から始める受験英語 ～偏差値60への道～

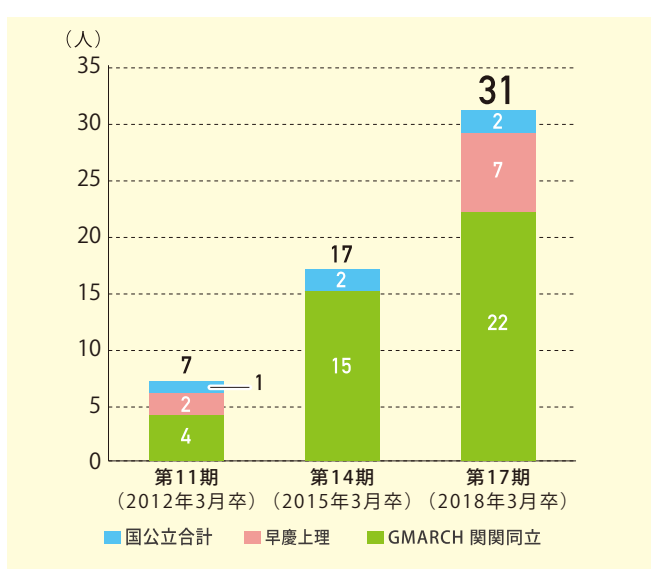
とにかく成績を上げて、国公立大、早慶上智、ICU、東京理科大、GMARCHなどの難関大学の合格を目指す希望制講座です。英文法に基づく読解法を学び、英文における論理展開を学ぶ、本校生徒に最も人気のある講座です。

進学実績(中高一貫コースのみ)

2017年度卒業生の進学先(卒業生39名)



中高一貫生による難関大学合格実績の推移



2017年度難関大学合格実績

国公立大学		GMARCH 関関同立	
東京農工大学	1名	学習院大学	1名
千葉大学	1名	明治大学	4名
		青山学院大学	4名
早慶上理		立教大学	5名
早稲田大学	2名	中央大学	3名
慶應義塾大学	1名	法政大学	4名
上智大学	4名	立命館大学	1名

実践学園全コース生徒
GMARCH以上の大学合格者数
(卒業生370名)

154名



卒業生インタビュー

授業とJ・スクールだけで国立理系を突破、6年間の積み重ねの結果です。

母も実践学園の卒業生です。ニュージーランドへの短期留学、ハワイへの修学研修旅行、オーストラリア語学研修を通じグローバルな視野が広がりました。高校で受験意識の高い外部生徒が新たに加わり、一緒に授業を受けられたのも刺激になりました。復習をみっちりしてから定期テストに取り組むうちに、受験勉強の準備が自然とできていた感じです。

6年間ダンス部の精鋭で千葉大学にも合格。一教科に一人、自分に合う先生を見つけよう。

週3日部活動で土日も練習ですが、特待生で成績上位が使命でした。定期テスト2週間前から毎回猛ダッシュで勉強しました。受験を意識した高1の3学期に「得意な教科がない代わりに、苦手な教科もない」ことに気づき、国立大受験を決めました。一人学習が好きなのもっとばら学校の先生が頼り。私だけの教材作りから個別指導まで、全教科で先生のお世話になりました。

世界への扉を開くグローバルプログラム

リーフレット04へ

本学園では世界で活躍できる人材の育成を目指し、様々な取り組みを行っています。

本学園のグローバル教育戦略は、語学の習得を目的とするだけではなく、日本人としてのアイデンティティを持ち、それを更に磨き上げて大切にすることで、国際人としてグローバル社会で通用する幅広い見識と、確固たる信念を持った、尊敬される人格を育てることにあります。学園では中高6カ年を通して多彩な海外留学・語学研修プログラムや、グローバルな視点からの教育を実施しています。中学・高校の多感な時期に得られた豊かな経験が糧となり、生徒一人ひとりの将来の可能性を大きく広げていきます。

中学のグローバル教育プログラム

日本文化を学ぶ

中1校外授業（鎌倉）



中学1年生で日帰りの鎌倉研修を実施します。班ごとにiPadで神社仏閣の写真を撮影し、学校に戻ってのまとめ学習の素材にします。

中2修学研修（奈良・京都）



中学2年生で2泊3日の奈良・京都修学研修を実施します。歴史の授業で日本の文化を学び、個人やグループ単位での調べ学習を行います。国際理解も、まず自国を知ることから始めます。

異文化を学ぶ

中3ブリティッシュヒルズ研修



中学3年生では福島県にある「ブリティッシュヒルズ」にて留学体験を実施します。日本語の使用を禁止した中で、「英語」の学習だけではなく、国際的マナーや習慣を学び、グローバルな感覚を身につけます。（1泊2日）

ニュージーランド語学研修(中3) 必修1



1998年から続いている中学3年生の修学研修を兼ねた語学・異文化交流研修。（12日間）これまでに1000名以上の中学3年生が参加しています。姉妹校の「マルボロ・ボーイズ・カレッジ」と「マルボロ・ガールズ・カレッジ」で男女それぞれが語学研修を受け、ホームステイします。

ニュージーランド姉妹校／カナダ短期留学(中3)



2012年度に始まった約2カ月半の短期留学。現地の授業に参加し、ホームステイでの滞在になります。本格的に留学したいけれども1年間という長期の留学は難しいという生徒に人気です。



マルボロ・ボーイズ・カレッジ（ニュージーランド）

中学からの充実した英語教育



ネイティブ講師による授業

英会話の授業をネイティブ講師と3人で行います。英語授業の内容と連携しながら、更に英語検定・GTEC等の対策やニュージーランド語学研修で活用できる実践的な内容を学びます。



JETプログラム

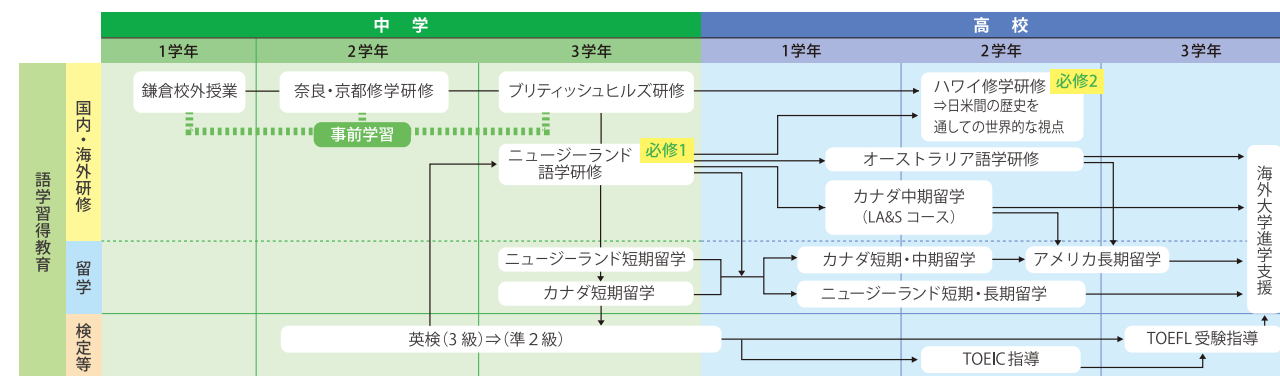
2015年度より「語学指導等を行う外国青年招致事業校（JETプログラム）」に採用されています。わが国の国際化の促進に資することを目的に外国語指導助手（ALT）が2名勤務しています。主に英語の授業や特別活動・部活動・勉強会などに参加します。



英語4技能（「聞く」「話す」「読む」「書く」）習得

年に2回英語検定を放課後必修にして受検しています。授業・補習内では、「読む力」「聞く力」向上のために段階的な演習を大切にしています。今後、より必要とされる「書く力」「話す力」の向上のために、日本人教師とネイティブ講師との綿密な打ち合わせも行っています。来年度形式が変わる英検にも対応できる確かな英語4技能の育成を目指します。

グローバル教育支援プログラム



高校のグローバル教育プログラム

平和学習

東京大空襲研修 「二世兵士激戦の記録」著者による講話(高1)



高校1年次に、東京大空襲被災資料センターを訪問します。また、「二世兵士激戦の記録」著者による講話も実施します。これらの研修を通して、約70年前に実際に起きた戦災と日本から見た「平和」について考えます。

ハワイ修学研修

ハワイ修学研修旅行(高2) 必修2



高校1・2年生の事前研修では、太平洋戦争についての平和学習を行います。その上でホームステイし、語学力を高め、アメリカ（ハワイ）の文化・歴史を学びます。さらにパールハーバーを訪問し、異なる国の立場からの「平和」について学び、国際理解を深めます。（6日間）

主な留学研修

オーストラリア語学研修
ニュージーランド姉妹校短期・長期留学

カナダ中期留学（LA&Sコース） 必修
アメリカ長期留学

カナダ短期・中期留学



在校生からのメッセージ



中高一貫コース
中学3年
大野さん

英語力をつけたいので、 ニュージーランド短期留学を選びました。

夏のニュージーランド短期留学に参加します。今回の総数は中3から高2まで計7人です。今は事前研修中で、ネイティブの先生との週1回の会話レッスンや英語の宿題が増えたり、ニュージーランドの地域学習や短期留学経験がある在校生とのミーティングが用意されています。英語力のアップはもちろん、いろいろなローカルフードを食べるのも楽しみです。



中高一貫コース
高校2年
佐藤くん

カナダ短期留学でウィンタースポーツを 色々経験、帰国後英検2級も取得しました。

中3の冬休みに2カ月のカナダ短期留学に参加しました。直前にインフルエンザにかかり、一人だけ1週間遅れて出発、先に到着していた友達顔を現地で見てホッとしたのを覚えています。ホストファミリーに同年代の息子さんがいたのでスケートやアイスホッケーなど、ウィンタースポーツにもチャレンジしました。全て英語の授業は大変でしたが、帰国後はリスニング力が向上し、高1の夏に英検2級を取得できました。

コミュニケーションデザイン教育

自立した人格をもつ人間として、他者と協力しながら新しい価値を創造する力を育みます。

グローバル社会に必須のスキルを身につける

グローバル人材を育てるために重要な要素としてコミュニケーション力が求められています。

2009年度より、青山学院大学社会情報学部 荻宿俊文教授にご協力を頂き、10教科目の科目として「コミュニケーションデザイン教育科」を立ち上げ、能動的な学びを進めています。

実践学園では、コミュニケーション力を「自ら働きかける力」「共感する力」「場をつくる力」の三つの力と定義しています。そして、異文化理解や社会福祉、キャリア教育などのテーマをもとに協働性を重視したワークショップと省察活動により、自己の資質能力を発見、定着させる取り組み(ALEプログラム)を行っています。さらに2017年度からは、このALEプログラムにICTを活用し、プログラミング学習などを通じて生産的思考の育成も行っています。この授業においては、定期的に中学1・2年生の合同授業にも取り組み、中学2年生はファシリテーターとして授業を企画し、下級生を導く役割を担うことで、中学1年生で身につけた「自



ら働きかける力」「共感する力」に加え、「場をつくる力」を身につけます。中学3年生は2年間で培ったものを“プレゼンテーション”という形で発表します。自分で考えたことをもとに、自分流のコミュニケーション術をつくることも目的の一つとしています。

● i のある授業

Communication, Active, Metacognition, IC, Creativity, Collaborative, AI, Happiness など、コミュニケーションデザイン教育では「i」を大切に授業をデザインしていきます。



● 先進的な授業

実践学園では、より良い学びのために、2016年度よりコミュニケーションデザイン教育授業担当者が、青山学院大学社会情報学部附属社会情報学研究センターの特別研究員として共同研究をし、先進的な教育を取り入れています。

ALEプログラムに基づいた取り組み (中1・中2)

1・2年生は週に一度、クラス単位で単独の授業を行っています。

ALEプログラムとは

ALEプログラムは、コミュニケーション教育やキャリア教育として注目を集めている芸術表現体験活動(アート系ワークショップ)に省察活動(振り返り)を加え、生徒が自分なりに意味づけすることによって、体験したことのより一層の定着を図る取り組みです。



芸術表現体験活動のグランドデザイン

ALEプログラムでは、他者と協働しながら、特定の答えのない作品を創造していくことを通して、メタ認知を育成していきます。

省察活動のグランドデザイン

映像をつかったり、他者と話すことで、芸術表現体験活動を思い出し、意味付けをします。また、他者を通して、原因を探していきます。

創造性を高める

教員の指示や事例の紹介から始まり、個人やペアで、そして、得たものを活用して作品をつくる活動を行うことで、創造性を高めています。

協働性を高める

「十人十色」を大切にし、「個人」での活動、参加度を高めるための「ペア」での活動、「3人寄ればもんじゅの知恵」を生む、「グループ」での活動をしています。また、役割を交換していくことで、互いの良さに気づいていきます。



合同授業での取り組み (中1・中2)

学期に2～3回 中学1・2年生合同の授業を行っています。

多角的共生社会で活躍するために

クラス単位の同質のグループだけでなく、他学年と授業をすることで異質のグループをつくり、創造性や協働性をより高めることを目的としています。

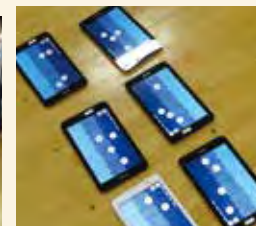
ファシリテーターとして

上級生は合同授業の準備をすることを通して、コミュニケーションの場をつくる力を培います。また、ワークショップにファシリテーターとして参加することもあります。



これまでに実施した合同授業(例)

2017年度実施「ビスケット」



ビジュアルプログラミングアプリ「ビスケット」を発明した原田康徳氏やデジタルポケットのスタッフの方々がゲスト講師にお招きし、ワークショップを3回行いました。最後は、グループで1つのゲームを作成し、ゲームセンターをひらき、みんなで楽しくあそび、相互に評価しました。

2018年度実施「神動画を撮影しよう。」



青山学院大学の荻宿教授がワークショップ用に開発した「逆転時間」や「ドリコマ」アプリを使い、アプリの特性を活かしながら、グループごとに「神動画」を撮影しました。

プレゼンテーション力を磨く (中3)

中学1・2年生で学んできたことを活かし、3年生はクラス単独授業でプレゼンテーションスキルを磨いていきます。



在校生からのメッセージ



中高一貫コース
高校2年
高場さん

ワークショップや大学院留学生が加わるグループワークなど、毎回発見のある授業です。

中学の合同授業ではゲームや即興劇など様々なワークショップがあり、知り合った生徒には授業以外でも、積極的にコミュニケーションを取ります。高1のイノベーション教育では、「自分が外国人ならどんなもてなしを受けたいか」をテーマに、大学院の留学生とグループワークをしました。意見を出し合いながらアイデアをまとめプレゼンテーションで終わる、とても刺激的で達成感ある授業でした。

高校では「イノベーション教育」を実施 (高1)

これからのグローバル社会では新しい価値を創造する力が問われます。イノベーション教育では、「未来をつくるアイデアを出す」ことを学びます。

2017年度：『オリンピック』

“東京オリンピックで来日する外国人に向けた食に関連する新しいアイデア”を考えることをテーマにして、アイデアの着想からプレゼンテーションまで行ないました。



2018年度：『SDGs(持続可能な開発目標)』

2030年の社会に向けた持続可能な開発目標として国連が掲げた17のゴールをテーマに、生徒は地球環境や貧困などの社会問題に対してどう関わるのかをグループワークやディスカッションを通して考えます。



リベラルアーツ & サイエンス教育

幅広い知識や教養を身につけ、社会で活躍できる人材を育成します。

これからのグローバル社会で活躍するためには、幅広い知識や教養を身につけ、様々な文化や価値観をもつ人々の考えを理解した上でコミュニケーションができる多様性・論理的思考力を身につけなくてはなりません。このグローバルな視点からの幅広い知識や見識を身につけ、活用するための実践教育として、先進的研究者による「大学模擬授業」、科学的思考力・表現力を育む実践学園独自の理科教育プログラムを行っています。また、緑豊かな軽井沢研修センターでの勉強会では、生徒が主体的に学び、探究するアクティブラーニング環境を実現しています。

阿部宏喜東京大学名誉教授による理科特別授業

リーフレット05へ



実践の森・農園

本学園1号館屋上にある、「実践の森」では様々な植物が語る四季の移ろいやビオトープによる生態系の観察ができ、田畑のある「実践農園」では毎年多くの野菜や果物が収穫されています。また、生徒同士や教員とのコミュニケーションの場にもなっています。2010年には「環境大臣賞」「東京都緑の大賞・特別賞」を受賞した緑豊かな武蔵野の環境を再現した「都会のオアシス」です。

阿部宏喜東大名誉教授による理科年間教育計画一覧 2017年度

	日時	対象	内容	備考
1	4月	保護者	「健康にいい魚をおいしくいただく」	保護者対象講演会
2	5月	中1	東京大学 田無演習林 見学	校外授業
3	7月	中1	国立科学博物館附属 自然教育園(目黒)	校外授業 2時間同行
4	7月	高1	「右? 左? ~理系・文系選択の前に~」	総合学習 50分講義
5	10月	中1	実践の森・農園	放課後 2時間実習
6	11月	中3	大学模擬授業	授業 70分講義
7	11月	高3	スポーツとアミノ酸 高尾の自然	授業 50分講義
8	1月~2月	高2	魚は川でも海でも生きられるか? ~浸透圧調節の不思議~	授業 50分講義
9	2月	中2	マグロとカツオの特別授業 見学	授業 50分講義
10	3月	中2	葛西臨海水族園	校外授業 2時間同行



理科教育指導顧問
「実践の森・農園」名誉園長
東京大学名誉教授
阿部 宏喜

先進的研究者による大学模擬授業

東工大名誉教授による最先端の理工学講座

音声工学の研究者で、音声の自動認識で先駆的な研究開発を行い、コンピューターと人が対話する双方向の音声認識システムを大幅に向上させたことにより、文化功労者に選ばれた東工大名誉教授古井貞照先生による「AIと自動運転の展望と課題」と題した世界の最先端の講義を実施。



東京工業大学 古井 貞照名誉教授

元一橋大学教授による倫理学講座

学園の教育理念である「倫理観の強い、国際感覚に優れた社会に役立つ人材」を育成するために、「友情について考える」と題する講義を実施。



元一橋大学 藤野 寛教授

夏期軽井沢勉強会

リーフレット02へ



「夏期勉強会」では、軽井沢の緑豊かな環境の中で「思考力・判断力・表現力」を身につけるための新しい「学び」を重視した学習、ネイティブ講師の「生きた英語」を活用した「英語を使って数学を学ぶ」などの充実した内容の研修を実施しています。2018年度からは軽井沢地域の自然・文化・歴史遺産へ実際に足を運んでのフィールドワーク体験を通して、机上での学びでは得られない「生徒の生きる力」を育みます。



現実の問題を
数学を使って
解決をする授業



タブレットを
使用した授業

夢を実現している卒業生

中学・高校の6年間を実践学園で過ごした生徒たち。彼ら、彼女らは卒業後にどのような道を歩んでいるのでしょうか。

中高一貫コースを卒業しそれぞれ国立大学で学ぶ須藤くん、糸井さんに
現在大学で学んでいる内容や、実践学園で過ごした経験についてお話を伺いました。



レベルの高い場所に
身を置くことが自分の
成長につながります

東京大学大学院 薬学系研究科 薬科学専攻
須藤くん(2012年度卒)

質問1 現在どのようなことを研究していますか。

東京大学大学院 薬学系研究科 薬科学専攻でアルツハイマー病の新規創薬につながる研究をしています。
アルツハイマー病は認知症の原因として最も多いもので、脳内に異常なタンパク質が蓄積して神経細胞が死んでしまうことが原因です。そのため、このタンパク質の量を制御することが治療に重要であると考え、アルツハイマー病の新規創薬ターゲットのメカニズムを解明しようとしています。

質問2 実践学園で学んで良かったというところはどこなところですか？

先生に相談をすると親身になって聞いてくれて、解決策と一緒に考えてくれるところだと思います。
自分の志望校に向けて、特別に授業を行ってくれた先生もいて、生徒を第一に考えてくれる先生が多いと感じます。さらに質問5でも述べるように、授業で関わってなくても積極的に声を掛けてくれる先生が多いです。



大学は自分で動けば
色々な情報が
入ってきます

首都大学東京 都市教養学部
糸井さん(2016年度卒)

質問1 大学で、どのようなことを研究しているか教えてください。

2年生で専門的な分野を選ぶため、今は化学の基礎を学んでいます。講義だけでなく、週1回化学実験があり高校で学んだこと、大学で初めて学んだことを自分の手で実際にやり、自分の目で見て教科書の記述との違いを知ることにもつながっています。

質問2 実践学園で学んで良かったというところはどこなところですか？

何かあったとき先生方に親切に最後まで対応していただきました。勉強で分からなければ3度でも4度でも説明してもらいましたし、友人関係や学校生活、模試、受験など、何か壁にぶつかってしまったときも一緒に悩みを解決しようとしてくれました。
中学生・高校生は学校で過ごす時間がとても長いです。特に中高一貫であれば6年間も同じ人と過ごすこともあります。同級生でも、先輩でも、後輩でも、先生でもいい。自分を理解してくれる人が見つかるはず。私自身、中学・高校の友人とよく会いますし、これからも仲良くしたいと思っています。学校はそんな人を見つけられる場所だと思っています。

質問3 在学中、受験勉強はどのようにしていましたか？

受験勉強は自習がメインでした。自由学習館や教室でも勉強していました。参考書で勉強する傍ら、補助的に予備校に通い、得意分野をさらに伸ばしていました。また先生にお願いして個別に特別授業を行ってもらい、志望大学の出題傾向にそった問題演習・解説をしてもらいました。

質問4 実践学園で思い出に残っていることはなんですか。

中高一貫生として6年通ったので、クラスメイトとの結びつきはとても強くなったと思います。体育祭や実践祭、合唱コンクールなどでもチームワークの良さは発揮され、大いに楽しむことができました。これは受験期になっても続き、直前期でもクラスの雰囲気良く、落ち着いて受験に挑めたと思っています。
また姉妹校結結の際にニュージーランドへ特別に交換留学に行けたことは、とても良い経験になっています。

質問5 本校の教員とのエピソードがあれば教えてください。

廣瀬先生は中学1年と高校3年間で担任で、勉強面だけでなく、諸々のサポートをしていただきました。大木先生には高校1年から直前期まで特別に英語の授業を行ってもらいました。さらに英語だけでなく、模試を踏まえての今後の計画といったサポートもしていただきました。
大貫先生には普段の授業から数学をわかりやすく、おもしろく教えていただきました。直前期には後藤先生(物理)に志望校にそった問題演習の時間を取っていただきました。その他にも直接授業などで関わっていても、伊田先生や近藤先生をはじめとする多くの先生に声をかけていただきました。

質問3 在学中、受験勉強はどのようにしていましたか？

先生に何度も言われて正直聞き飽きたと思うこともありましたが、やはり「授業の復習」「基礎を固める」「繰り返す」ですね。特に数学、物理、化学は「その日のうちに」やるように言われましたし、やるようにしていました。
勉強場所については家では勉強できないタイプだったので基本的に、学校と塾で勉強していました。学校のいいところは専門の先生が多いところだと思っています。塾もいいですが担当の先生は一人なので質問できる回数は少なかったです。一方で学校であれば質問できる先生がとても多く、ほぼ毎日職員室に通っていたと思います。

質問4 実践学園で思い出に残っていることはなんですか。

やっぱり修学旅行が一番ですね。高2のハワイが最高でした。中高一貫で既に5年目になりほぼ家族のような関係で居心地がよかったです。修学旅行がハワイと場所もよく、ホームステイもベアのひとと何とか言いたいことを伝えようと頑張りましたし、ホストファミリーの人も親切で言いたいことをくみ取ろうとしてくれました。帰るときには「もう1週間いたい」と思っていました。

質問5 本校の教員とのエピソードがあれば教えてください。

小椋先生には中学生のころからお世話になりました。その中でも受験期の記憶が一番鮮明です。私は毎日英語のプリントをもらい、細かいところを質問して困らせることがよくありました。その度に辞書や本、ネットなどで何度も調べ、私の疑問に答えてくれました。今思えば本当に細かくて、自分でも面倒だなと思いますが、先生は嫌な顔せず私に納得するまで説明してくれました。合格発表当日は、発表の1時間以上前に先生から連絡がきて、私以上にそわそわしているようでした。
毎日質問で悩ませて、受験では心配させてしまいましたが、先生方に合格したことを伝えることができ、「おめでとう」と言ってもらったことはとても嬉しかったです。

クラブ活動 学習との両立を念頭に活動しています

本学園のクラブ活動は文化部・運動部共に多くの生徒が所属し、それぞれの目標達成のため、充実した活動を行っています。技術のみならず人間性の育成にも力をいれており、その結果、男子バスケットボール部が全国大会優勝（2連覇）を果たし、卓球部・女子バレーボール部・女子バスケットボール部・男子バドミントン部が関東大会に出場しています。さらに、本学園は「学習と部活動の両立」の支援に力を入れており、それぞれの部活動が放課後のJ・スクールをはじめ、学習との両立を念頭に活動しています。

社会で必要とされる能力の養成

本学園では、クラブ活動・学校行事を通して「主体性・コミュニケーション力・社会性」「やり抜く力（GRIT）」「折れない心（Resilience）」といった、社会で必要とされる能力の養成を行っています。この取り組みによって、学習面でも大きな効果を発揮しています。



体育クラブ

中 学	
男子バスケットボール部	女子バスケットボール部
男子バドミントン部	女子バドミントン部
男子ソフトテニス部	女子ソフトテニス部
女子バレーボール部	サッカー部
卓球部	柔道部
剣道部	ゴルフ部
女子ダンス部	軟式野球部
陸上競技部	

高 校	
男子バスケットボール部	女子バスケットボール部
男子バドミントン部	女子バドミントン部
男子ソフトテニス部	女子ソフトテニス部
女子バレーボール部	サッカー部
卓球部	柔道部
剣道部	空手道部
ゴルフ部	女子ダンス部
野球部	陸上競技部

文化クラブ・同好会

中学・高校	
書道部	華道部
茶道部	吹奏楽部
マンガ倶楽部	美術部
演劇部	JESS(英語部)
合唱部	写真部
家庭科部	科学部
パソコン同好会	棋道同好会
青少年赤十字同好会(J.R.C)	映画同好会
鉄道研究同好会	箏曲同好会

卒業生インタビュー



中央大学
法学部
町井くん

中高ともにバスケットボール部の主力選手ながら
最難関学部にも合格、将来はプロ選手を目指します。

中3の全国大会の決勝戦、大観衆のメインコートで試合
ができたのは一生の思い出です。定期テストの時は
1カ月前から準備を始めましたが、勉強すると色々な
方向から考える習慣がつくので試合や練習にも役立
ちました。スポーツ推薦で中央大学最難関と言われる
法学部に合格しました。大学でもバスケットボール部
に入学して将来はプロの選手を目指します。

クラブ活動実績

中学
●卓球部 全国選手権大会：優勝1回・準優勝4回／全国選抜大会：優勝2回・準優勝4回・3位1回 ●男子バスケットボール部 全国中学校大会：7回出場・優勝2回・準優勝1回・3位1回・ベスト8 1回／関東中学校大会：8回出場・優勝2回・準優勝3回・3位1回／東京都大会：優勝12回 ●男子バドミントン部 全国中学校大会：男子シングルス1回出場第9位／関東中学校大会：ダブルス2回出場・男子シングルス1回出場第5位 ●女子バスケットボール部 関東中学校大会：1回出場／東京都春季大会：3位／東京都中学校選手権大会：ベスト8／東京都新大会：準優勝 ●女子バレーボール部 全国選手権大会：2回出場／関東中学校大会：3位／東京都中学校選手権大会：準優勝 ●合唱部 東京ヴォーカルアンサンブルコンテスト：銅賞／NHK全国学校音楽コンクール東京予選：銀賞1回・銅賞2回

高校
【全国大会】●男子バスケットボール部 総合体育大会：2回出場 ベスト16 1回／全国選抜優勝大会(WINTER CUP)：1回出場 ●サッカー部 全国選手権大会：3回出場／総合体育大会：3回出場 ベスト16 1回 ●卓球部 総合体育大会：35回出場・準優勝3回・3位5回・シングルス 優勝1回／選抜大会：34回出場・3位4回 ●女子バスケットボール部 総合体育大会：17回出場・3位1回・5位3回／選抜優勝大会：9回出場・3位1回・5位3回 ●男子バドミントン部 総合体育大会：1回出場・ダブルスの部9位／全国高等学校選抜バドミントン大会 団体：2回出場／全国私立高等学校選抜バドミントン大会 団体：17回出場 ●女子バレーボール部 春の高校バレー全国選抜優勝大会：1回出場・ベスト16／全国私学大会：14回出場・ベスト8 ●ゴルフ部

個人の部：1回出場 ●棋道同好会 将棋選手権大会：女子団体戦3回出場・ベスト8 1回・女子個人戦5回出場・2位2回・5位2回／文化連盟将棋新人大会：女子個人戦4回出場・1位2回・5位1回／将棋女子選抜大会：個人戦4回出場・1位2回・5位2回 ●書道部 学芸書道全国展：硯心会理事長賞・硯心会奨励賞／全日本書初め大展覽会：特選・秀作 ●女子ダンス部 日本高校ダンス部選手権大会全国大会3回出場／USA Nationals in Japan Hip Hop部門：7回出場・2位／song-pom/small部門：5回出場4位 ●鉄道研究同好会 全国高等学校鉄道模型コンテスト：4回出場 【関東大会】●卓球部 46回出場 ●女子バスケットボール部(31年連続) 32回出場 ●男子バドミントン部(13年連続) 21回出場・5位1回／関東選抜大会：4回出場・

ダブルス3位1回 ●女子バレーボール部 (17年連続) 36回出場・5位1回 ●男子バスケットボール部 9回出場・3位2回 ●女子バドミントン部 4回出場 ●ゴルフ部 団体の部1回・個人の部11回出場 ●サッカー部 2回出場／JFA関東プリンスリーグ：1回出場 ●野球部 1回出場 【東京都大会】●野球部 春季大会：ベスト8 ●女子バドミントン部 春季大会：3位／新大会：5位 ●空手道部 春季大会：ベスト8 ●吹奏楽部 中編成の部：優秀賞1回・金賞4回 ●合唱部 NHK全国学校音楽コンクール東京都東地区予選：金賞4回・東京都本選：銅賞1回／東京ヴォーカルアンサンブルコンテスト：銀賞2回・銅賞5回／東京 春のコーラスコンテスト：銅賞1回・3位1回

学校行事 生徒主体の企画・運営により、主体性・多様性・協働性を育成します

体育祭や学園祭などの学校行事は、生徒会・実行委員が中心となり、企画・運営・管理など多岐にわたり生徒主体で実施しています。学園生活の貴重な体験となるだけでなく、同じクラス・同じ学年の仲間や先輩・後輩と協力することにより、人間的な成長も促されます。このような活動により新たに求められる学力としての「主体性・多様性・協働性」の育成にも対応しています。

中高共通	中学行事	高校行事
4月 - 入学式 - 始業式 - 新年度ガイダンス - 新入生歓迎ハルカイ Spring Festival	- 学力推移調査 - 授業参観 - 保護者会 入学式	- スタディーサポート (1・2 年) - 保護者会 (2・3 年) ハワイ修学研修旅行
5月 - 健康診断 - 生徒総会 - 中間考査	- 校外授業 (1年 高尾教育・研修センター 2年 江戸東京博物館 3年 プリティッシュヒルズ) - 生徒総会	- 大学合同説明会 (3 年) - ハワイ修学研修旅行 (2 年) - 生徒総会
6月 GTEC for STUDENTS	- 合同体育授業 (中野) - 漢字検定 - 数学検定	- 体育祭 - 保護者会 (1年) - 保護者対象講演会 - 漢字検定 (1年)
7月 - 期末考査 - 終業式 - 夏期 J・スクール - 夏期三者面談	- GTEC for STUDENTS (1年) - 軽井沢勉強合宿 (3 年) ニュージーランド短期留学 (3 年希望者)	- オーストラリア語学研修 (1・2 年希望者) - ニュージーランド短期留学 (1・2 年希望者) - アメリカ長期留学 (2 年希望者)
8月 - 夏期 J・スクール - 夏期三者面談	軽井沢勉強合宿 (2 年) ニュージーランド語学研修 (3 年)	- 大学見学ツアー (1 年) - 軽井沢勉強合宿 (1 年)
9月 - 始業式 - 防災訓練 - 実践祭	課題確認テスト (1・2 年)	- スタディーサポート (1・2 年) - 校内統一テスト (3 年) 大学模擬授業
10月 中間考査	- 体育祭 - 英語検定 - 学力推移調査 体育祭	- 体育祭 (1 年) - 文系理系選択ガイダンス (1 年) - 英語検定
11月	- 合唱コンクール - 奈良・京都修学研修 (2 年) - 校外授業 (1 年 鎌倉) - 校外授業 (3 年 TOKYO GLOBAL GATEWAY) - 数学検定 体育祭	- 大学模擬授業 (1・2 年) - 校外授業 (1 年 TOKYO GLOBAL GATEWAY) - 保護者会 センター試験壮行会
12月 - 期末考査 - 終業式 - 冬期 J・スクール	エコプロダクツ見学 奈良・京都修学研修	- 三者面談 (3 年) - GTEC for STUDENTS (1・2 年) センター試験壮行会
1月 始業式	- 英語検定 - スキー教室 (1 年) カナダ短期留学 (3 年希望者)	- センター試験壮行会 (3 年) - 直前 J・スクール (3 年) - 英語検定 ニュージーランド長期留学 (1 年希望者) カナダ短期・中期留学 (1・2 年希望者)
2月 卒業式	- 実力確認テスト (3 年) - 学力推移調査 (1・2 年) - 数学検定	- 合唱祭 (1 年) - 修了確認テスト (3 年) 3 年生を送る会 - 特別高尾体育授業 (3 年) 高 1 合唱祭
3月 - 期末考査 - 終業式 - 春期 J・スクール	- 高校進学ガイダンス (3 年) - 卒業証書授与式	- 卒業式 - スタディーサポート (2 年) - 勉強合宿 (1 年)

生徒主体の学校行事の企画・運営を行う生徒会

実践学園生徒会は生徒主体の生徒会活動を目指し、学校行事の企画運営を主な活動としています。1学期に行われる新入生歓迎ハルカイ (Spring Festival)、2学期に行われる実践祭、3学期の3 年生を送る会、その他、年末の募金活動なども行っています。これからも委員会活動をはじめ、全校生徒の協力を得ながら、活動の幅を更に広げていきます。



実践祭 ▶



◀ ハルカイ Spring Festival



◀ 体育祭

》実践学園の制服

冬服は胸に校章のエンブレムが入った紺色のブレザーを着用します。夏服は、男子はブルオーバーシャツ、女子がオーバーブラウスです。男女ともにポロシャツや2色のセーターがあり、季節や気候、好みに合わせて着こなしができます。



選べるコーディネートアイテム

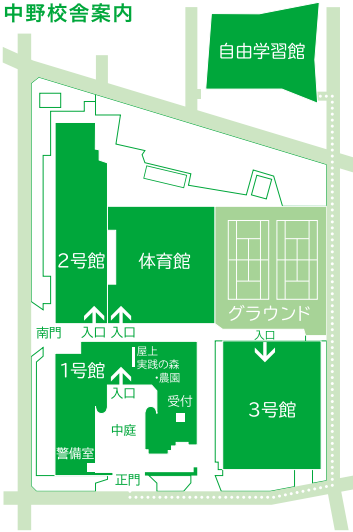


学園の施設

安全・危機管理対策も万全な最新の設備

》中野校舎

- 1 カフェテリア[1号館1階]
- 2 第2理科室[1号館3階]
- 3 コンピュータ室[1号館3階]
- 4 調理室[3号館1階]
- 5 家庭科室[3号館1階]
- 6 音楽室[1号館4階]
- 7 芸術室[1号館4階]
- 8 視聴覚室[2号館3階]
- 9 茶室[3号館1階]



》充実した学習施設

- 10 自由学習館
- 11 軽井沢平澤記念研修センター
- 12 中野坂上セミナーハウス
- 13 高尾教育・研修センター



2011年に完成した自由学習館は、生徒の学習意欲と知的探究心に応え、生徒一人ひとりが、クラスメイトと共に自由に学ぶ「学びの館」です。

リーフレット01へ



緑豊かな大自然に包まれた軽井沢平澤記念研修センターは、生徒の知的好奇心を育む学び舎です。また、教員のスキルを磨き、教員のレベルを高める研修の場としても活用しています。

リーフレット02へ



中野校舎の近くにある学習施設で宿泊もでき、生徒の勉強合宿や教員研修等に利用しています。



スポーツを「行なうもの」から「科学するもの」へと進化させる高尾教育・研修センター。スポーツ・サイエンスコースの授業を行うとともに、学習とスポーツを通して幅広い教養と生きた体験を学び、豊かな人間性を育む様々な教育活動(体育祭・宿泊研修等)を行っています。1号館は100名が宿泊可能な食堂を備えた多機能の研修施設、2号館は教育棟となっています。また、室内運動場があります。

リーフレット03へ

教室の見える化



開放感のある教育環境で、教員相互のより高度な授業への取り組み内容の確認や保護者による授業参観がいつでも可能です。

廊下壁のホワイトボード化



「校舎全体を教室に」を目的に、全校舎の「廊下壁のホワイトボード化」を実現し、教室外の廊下においても教員と生徒が勉強できる設備を整えました。生徒へのメッセージ、伝達事項など必要情報の伝達ができます。

ふれあいコーナー



職員室前の「ふれあいコーナー」では、生徒からの質問や対話が図られ、より深い信頼関係を築くことができます。

実践の森・農園 (1号館屋上)



リーフレット05へ

セキュリティ・安全・危機管理

IC カードの導入

生徒証にはICカードを導入。登下校時に玄関に設置されたカードリーダーにかざすことで、保護者の皆様に登下校状況をメール配信しています。個人情報保護は徹底しています。



AEDを設置

応急手当奨励教育機関認定校

中野校舎・高尾校舎ともにAED(自動体外式除細動器)を備え、AEDの取り扱い講習を徹底し、万一の場合に備えています。



危機管理対応策

校内倉庫に加え、防災備蓄庫に全校生徒・教職員3日分の防災用品を備蓄し、緊急の事態に万全な備えをしております。東日本大震災の際にも十分対応できました。

